

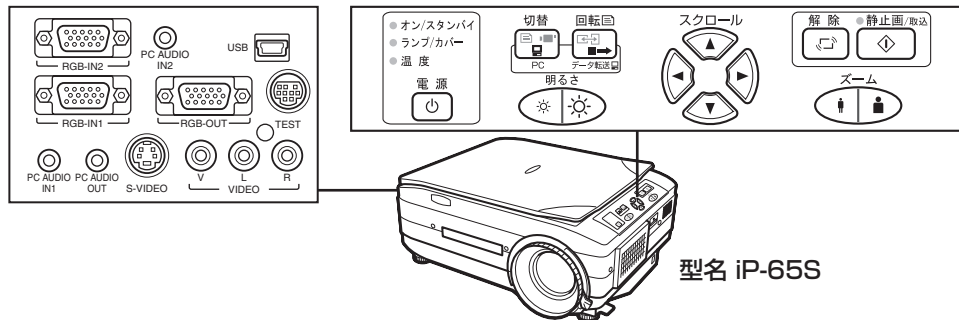
## iP Viewerソフトウェア クイックリファレンス

Version 3.X.XX (Xは任意の数字)

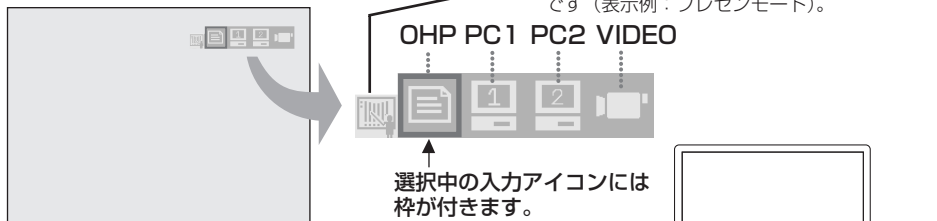
インテリジェントプロジェクトのiP Viewerソフトウェアの基本的な使いかたを記載しています。詳細については、iP Viewer取扱説明書をご覧ください。

以降インテリジェントプロジェクトはプロジェクト、iP ViewerソフトウェアをiP Viewerと略します。

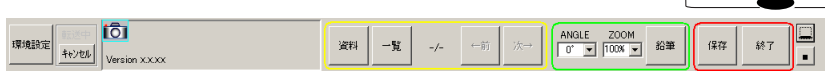
## プロジェクトの各操作ボタンと接続端子



## 入力選択のアイコン表示 (スクリーン)



## iP Viewerのステータスバー (パソコン)



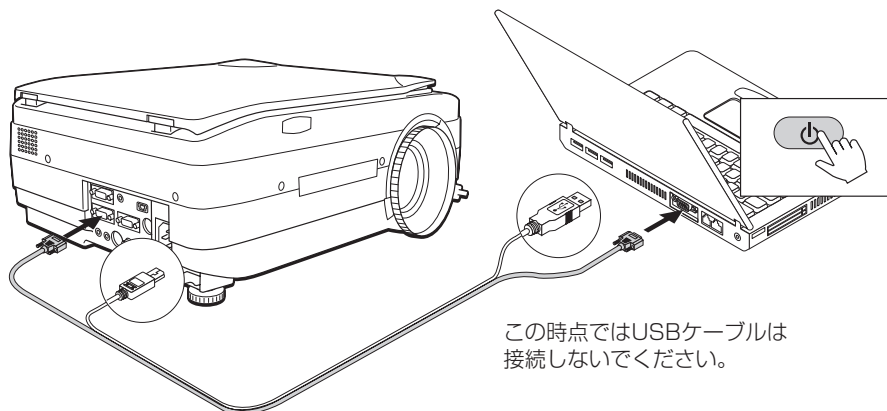
## ステップ1 接続とiP Viewerの起動

## 1 プロジェクタの電源を入れ、[PC] に切り替える。



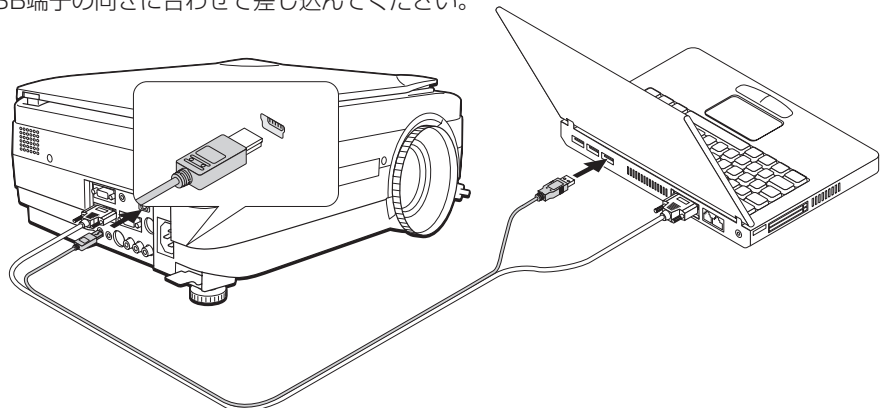
## 2 RGBケーブルを接続し、パソコンを立ち上げる。

プロジェクト側とパソコン側でUSBコネクタの形状が異なりますので注意してください。プロジェクトにパソコンの画面が出ているかを確認してください。



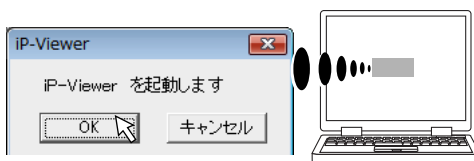
## 3 USBケーブルを接続する。

USB端子の向きに合わせて差し込んでください。



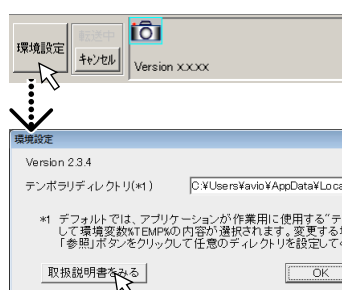
## 4 「iP Viewerを起動します」の画面を表示しますので [OK] ボタンをクリックする。

iP Viewerが起動します。



## 5 iP Viewer取扱説明書はiP Viewerの [環境設定] 画面の [取扱説明書をみる] ボタンをクリックして見ることができます。

iP Viewerは、パソコンにはインストールされません。プロジェクトとUSBケーブルで接続することで起動します。



## ステップ2 パソコンと接続してできること

OHP画面、パソコン画面、ファイルの登録、投写や取り込み資料の加工等が行えます。

## ●OHP投写画面の登録 (スキャナ機能)

A4サイズまでの資料が登録できます。

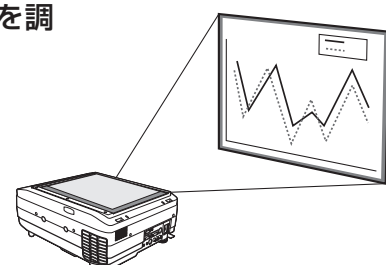
## 《プロジェクト側の操作》

(一旦プロジェクトのメモリに保存します。SDメモリーカードが挿されていないことを確認してください。)

## 1 入力を [OHP] に切り替える。



## 2 資料をガラス面にのせ、取り込み位置を調整する。



## 3 [静止画/取込] ボタンを押す。

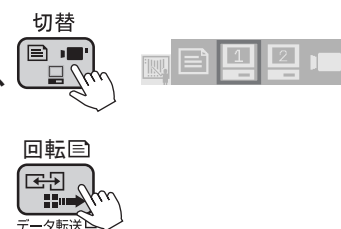
取込中は投写画面上に“USB”を表示します。“USB”の表示が消えれば、次の資料の取り込みができます。

複数保存するには、2、3の手順を繰り返します。



## 4 入力を [PC] に切り替え [転送] ボタンを押すか、または入力が [OHP] のときは、[転送] ボタンを長押しします。

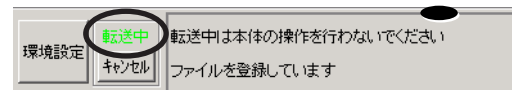
パソコンへの転送が始まります。



## 《パソコン側の操作》

## 5 “転送中” が緑色表示する。

完了すると“転送中”の表示が消え (薄いグレイ)、赤字で“プロジェクトからのファイル転送完了しました”のメッセージが表示されます。



## 6 転送データを確認するには [一覧] ボタンをクリックして、一覧画面を表示させる。

もどる場合は、[閉じる] ボタンをクリックします。表示したい資料をクリックすると全画面表示されます。

ご注意：一覧表示中はメニューバーのボタンは動作しません。

ご参考：iP-65SにてSDメモリーカードに保存した画像もiP Viewerで記憶することができます。(詳細は取扱説明書を参照願います。)

## ●PC画面の保存 (画面キャプチャ機能)

パソコンで表示しているエクセル、ワード、ブラウザ等の画面をキャプチャして登録します。

## 1 ステータスバーの [最小化] ー ボタンをクリックしてiP Viewerを最小化する。



## 2 アプリケーションを起動して保存したい画面を表示させる。



## 3 [画面キャプチャツール] ー をクリックしてキャプチャする画面を一番前に表示させる。

カメラアイコン ー をクリックするごとに後ろのウィンドウが一番前に出ます。



## 4 [取込] ー ボタンをクリックして登録する。

カメラアイコン ー をクリックして、iP Viewer画面を前に出します。キャプチャした資料は一覧画面で ー (カメラ) マークが付きます。



## 5 再びiP Viewerを表示させる。

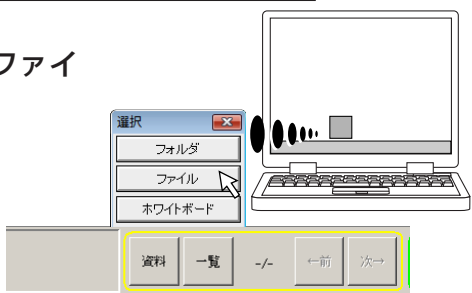
タスクバーの ー をクリックします。

・iP Viewerでキャプチャして保存したパソコンの画面はハードコピーした画面です。この画面でアプリケーションの操作は行えません。操作を行う場合はカメラアイコン ー をクリックしてアプリケーション画面に戻してください。

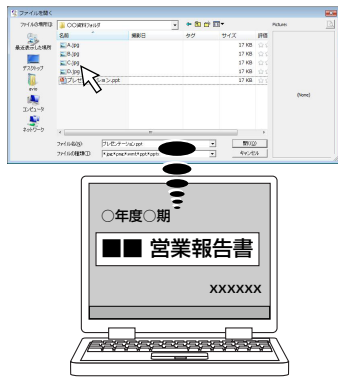


●画像ファイル、PowerPointファイルの取り込み

1 [資料] ボタンをクリックし、[ファイル] ボタンをクリックする。



2 画像ファイルやPowerPointファイルを選択し[開く] ボタンをクリックする。  
PowerPointファイルは、自動でJPEG形式に変換され、始めのページを投写します。

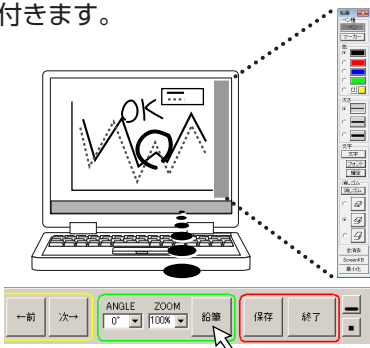


●取り込みデータの加工

鉛筆ツールを使用して登録した資料に線や文字を書き加える、向きを変える、大きさを変える、画像を移動する（投写画面より大きな画像の場合）ことができます。  
資料を加工（表示）すると加工後の画像が編集画像一覧に登録されます。  
元資料（原画）は、取込画像一覧に登録されています。  
一覧表示ではキャプチャした資料にカメラマークが付きます。

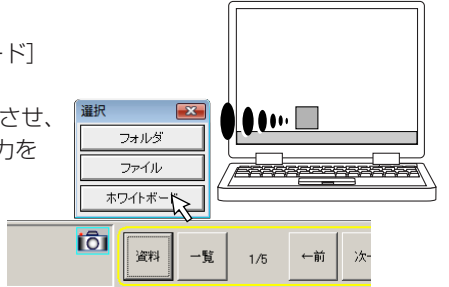
《投写資料に書き加える》

[鉛筆] ボタンをクリックして、鉛筆ツールを表示させ、ペンの太さや色を選択して描画します。文字をキーボードから入力することもできます。  
使いかたはiP Viewerの取扱説明書をご覧ください。



《ホワイトボードを表示し加工する》

[資料] をクリックし、選択画面の[ホワイトボード]を選択すると白画面を表示します。  
[鉛筆] ボタンをクリックして、鉛筆ツールを表示させ、鉛筆ツールを使って文字や線を描いたり、文字入力を行います。



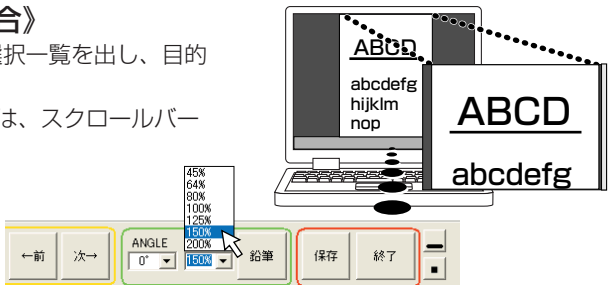
《資料の向きを変える場合》

ANGLEの[▼] をクリックして選択一覧を出し、目的の角度をクリックします。



《資料の大きさを変える場合》

ZOOMの[▼] をクリックして選択一覧を出し、目的の拡大率をクリックします。  
投写画面より大きく拡大した資料は、スクロールバーで位置の移動ができます。



ステップ3 プレゼンテーションの実施

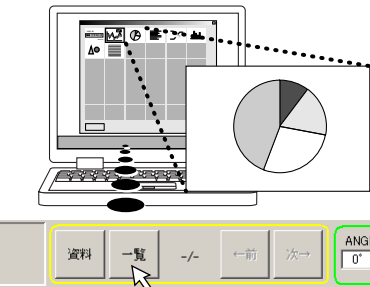
プレゼンテーションを実際に行う場合の操作の流れと要点を記載しています。

1 資料の登録を始めに行う。

- 登録には3通りあります。
- ・PowerPointファイル資料の場合：“ステップ2”の“画像ファイル、PowerPointファイルの取り込み”を参照
  - ・プロジェクタのOHPから取り込んだ画像を資料にする場合：“ステップ2”の“OHP投写画面の保存（スキャナ機能）”を参照
  - ・PowerPoint以外のアプリケーションを資料にする場合：“ステップ2”の“PC画面の保存（画面キャプチャ機能）”を参照

2 一覧表示から資料を選んで投写する。

[一覧] ボタンをクリックして一覧画面（サムネイル）を表示させ、目的の資料をクリックします。



3 ページを切り替える。

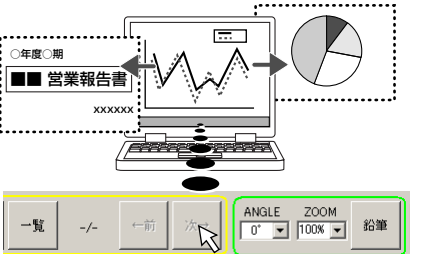
[次→] または[←前] ボタンをクリックして切り替えます。

こんなとき……

会議中の投写資料に書き加える、向きを変える、拡大／縮小する場合：  
“ステップ2”の“取り込みデータの加工”参照

スライドショーとして使用する場合：

- 1) [資料] → [フォルダ] → [フォルダの参照] から対象フォルダを選択し、一括登録します。最初の資料が投写されます。
- 2) [次→] をクリックするごとに、ページが順に切り替わります。



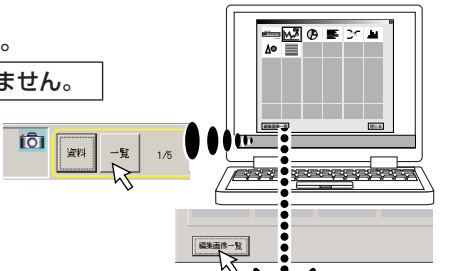
ステップ4 プレゼンテーションの終了

●保存資料の確認と不要資料の削除

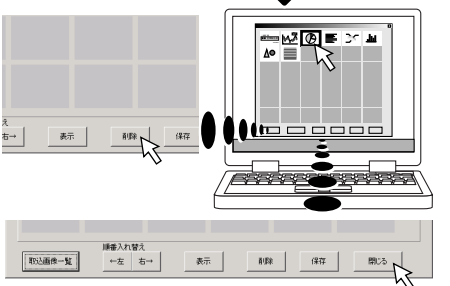
一覧より表示した資料は編集画像として残ります。

ご注意：一覧表示中はメニューバーのボタンは動作しません。

1 [一覧] ボタンをクリックし、取込画像一覧画面の[編集画像一覧] ボタンをクリックする。  
編集画像一覧画面を表示します。



2 不要な資料を削除するときは、不要資料をクリックし、[削除] ボタンをクリックする。  
編集画像一覧で表示している資料が保存操作で保存されます。



3 [閉じる] ボタンをクリックして一覧表示を閉じる。

●編集資料を保存する（データセーブ機能）

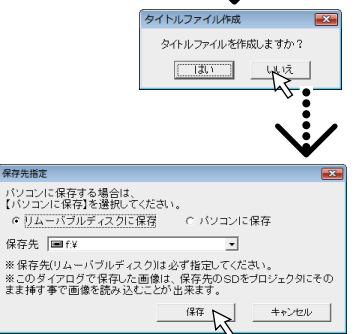
（詳細な保存方法については、取扱説明書を参照願います。  
SDメモリーカードに保存した画像はiP-65Sで再生することができます。）

1 [保存] ボタンをクリックする。  
タイトルファイル作成確認画面を表示します。  
（ここでは[いいえ]をクリックした前提で記載します）



2 保存先を指定する。

SDメモリーカードに保存するかパソコンに保存するか選択します。  
（ここではSDメモリーカードに保存する場合を記載します。）  
SDメモリーカードに保存する為に、コンボボックスをクリックしてSDメモリーカードがセットされているドライブを選択します。

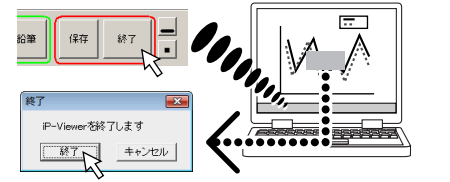


3 [保存] ボタンをクリックする。

保存を開始し、[保存先指定] 画面が閉じます。  
保存できない場合は、保存先を選び直してください。  
一度保存すると保存先を変更しない限り、同じフォルダに上書きされます。  
これで保存が終了しました。

●終了する

[終了] ボタンをクリックする。  
終了確認画面を表示します。  
確認画面の[終了] ボタンをクリックするとiP Viewerを終了します。



プロジェクタとパソコンの接続を外すときは、パソコン側でUSBデバイスとの切断操作を行ってください。

1 デスクトップ画面のタスクバー（右下）にある[切断アイコン]をクリックする。

- ①ドライブの選択表示から[USB大容量記憶装置 デバイス-ドライブ]を選択します。
  - ②[停止] をクリックします。
  - ③[OK] をクリックします。
- ご使用のOSによっては表示が異なります。



2 “このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。”の表示が出たら安全に取り外すことができます。

